

## 研究講習事業報告

学発番号: 学22-010★(日臨技推進事業研修会)  
事業名: 血液検査研究班 WEB講演会  
日時: 令和4年7月9日(土) 14:00~17:00  
場所: キャンパスプラザ京都 第一会議室 + WEB(zoom)  
主 題1: Case study 30(症例検討)  
講 師1: 岡本 真実 技師(京都大学医学部附属病院)  
主 題2: 症例から学ぶ凝固異常症  
講 師2: 由木 洋一 先生(京都府立医科大学附属病院)  
参加数: 総数:59名(京臨技会員:36名)  
報告者: 田辺 祐也(京都第二赤十字病院)

以下、講演内容など

今回はWEBハイブリット方式で症例検討1例と講演1題を行いました。症例検討では京都大学医学部附属病院の岡本真実技師よりVon Willebrand病を背景にもった一過性のLA(LAHPS疑い)が提示されました。APTTクロスミキシングテストの結果が経過につれ、LAパターンから凝固因子欠乏パターンへ変化する珍しい症例でした。今後も継続し、このような症例があることを多くの方に知っていただきたいと考えます。京都府立医科大学附属病院の由木洋一先生には、「症例から学ぶ凝固異常症」としてPT、APTT、FDP、Dダイマーなどの異常データに遭遇した際、どのように考えたらいいかを実際の症例を提示しながら詳しく解説いただきました。日常ルーチン業務にて実際に遭遇する可能性が高い事例も多く、大変勉強になりました。

通常報告